



赤い羽根共同募金運動

令和2年度事業報告

～ みんなにとどけ赤い羽根 ～

“コロナ禍での共同募金運動”



(令和2年度静岡県版ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第1部 概要

1 募金状況	1
2 助成状況	1

第2部 事業実施状況

第1 募金活動	2
1 社会的ニーズの把握	3
2 助成要綱の制定	3
3 助成申請の受付	3
4 助成計画の策定と目標額の設定	3
5 広報活動	4
(1) 県民全体への広報	4
(2) ホームページによる広報	5
(3) 報道機関への協力依頼	5
(4) 地元サッカーチームの広報協力	6
(5) 赤い羽根バルーンによる広報協力	6
(6) 静岡県による広報協力	6
(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力	6
6 寄付依頼活動(募金活動)	6
(1) 赤い羽根共同募金	6
① 一般募金	7
② 課題解決プロジェクト募金	10
(2) 地域歳末たすけあい募金	11
(3) NHK 歳末たすけあい	11
7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)	11
(1) 社会貢献型自動販売機による寄付	11
(2) 物品による寄付	12
(3) 寄付つき商品による寄付	13
(4) ネット募金	13
(5) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分)	14
第2 助成活動	15
1 共同募金による助成	15
2 緊急等助成資金による助成	16
(1) 災害ボランティア活動用資機材助成事業	16
(2) 新型コロナ対策フードバンク応援事業	16
3 助成効果の測定と実地監査の実施	16

第3	新型コロナウイルス感染症への対応	18
1	コロナ禍での共同募金運動	18
(1)	コロナ禍での共同募金運動の実施方針の通知	18
(2)	コロナ禍での目標額(助成計画)の設定	18
(3)	共同募金運動における感染症対策ガイドラインの策定	18
(4)	令和元年度共同募金による市町社会福祉協議会の地域福祉活動事業	18
(5)	事務費の臨時交付	19
2	新型コロナ対策フードバンク応援事業(全国キャンペーン)	19
3	本会の新型コロナウイルス感染予防対策	19
第4	その他の活動	20
1	災害等準備金の状況	20
2	災害義援金の状況	20
3	共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成	21
4	他団体助成事業の受託事務	21
5	顕彰活動	22

第3部 法人運営

第1	会務の運営	23
1	理事会	23
2	評議員会	24
3	監事監査	25
4	評議員選任・解任委員会	25
5	配分委員会	25
6	本会開催の会議等	26
第2	その他の会務の運営	27
1	関係機関との連携	27
2	共同募金運動募金経費	27
3	社会福祉法人指導監査	27
第3	社会福祉法人静岡県共同募金会役職員名等簿	28



第1部 概要

未曾有のコロナ禍での“赤い羽根”共同募金運動！

“赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として開始され、募金ボランティアの尽力により、これまでの74回の運動で、静岡県内の寄付金総額は約309億円、助成総額は約273億円に上り、それぞれの時代における福祉課題を解決してきた。

近年、社会貢献活動の多様化等に伴い募金額は、平成7年度をピークに減少を続け、課題も大きくなっている。一方で地域福祉課題が多様化、複雑化しており、新型コロナウイルスの影響により苦しむ人々への支援をはじめ、制度外ニーズへの対応が求められており、“赤い羽根”が果たすべき役割は大きい。

1 募金状況

令和2年度は、厚生労働省告示第311号により、令和2年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間、目標額を5億4000万円に定め、県内全域で運動を展開した。

今年度は、未曾有のコロナ禍により従来の運動方法が制限されるなど苦しい運動となったが、「感染症対策ガイドライン」を定め、多くのボランティアの皆さんとともに安全で安心できる運動に努めた。

募金活動では、戸別募金を中心に丁寧な説明を行うとともに、法人募金ではダイレクトメールの活用、そのほか課題解決プロジェクト募金、ネット募金、寄付つき商品（募金百貨店）、寄付物品の受入など新しい募金手法にも積極的に取り組んだ。

その結果、対前年比96.3%と減少しつつも、予想以上の約5億900万円を確保、県民の皆様の優しさを痛感した運動となった。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	342,539,000	309,990,418	90.5	▲15,840,820	95.2
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(6,157,000)	(6,557,589)	(106.6)	(2,191,553)	(150.2)
地域歳末たすけあい募金	175,731,000	179,791,721	102.4	▲6,838,018	96.4
NHK歳末たすけあい	21,730,000	19,214,141	88.5	2,971,575	118.3
合計	540,000,000	508,996,280	94.3	▲19,707,263	96.3
前年度	568,000,000	528,703,543	93.1	▲11,322,974	98.0

(市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～9 ページ)

2 助成状況

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通助成テーマに、高齢者を支える仕組みづくり、障害者が地域で生活するための福祉施設の設備や子どもを虐待から守る取り組み、ひきこもりからの回復を目指す取り組みなど、多様なニーズに即した助成を行うとともに、募金額の3%を災害対応のために積み立てた。

その結果、助成実績は、昨年を上回る379件、4億7544万円余となり、コロナ禍に苦しむ人々への支援も含め、福祉関係団体等の幅広い要望にすべて応えることができた。

区分	助成 件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一般募金	281	280,269,341	97	12,241,919	104.6
地域歳末たすけあい募金	33	174,457,434	▲1	▲6,497,774	96.5
NHK歳末たすけあい	65	20,717,000	▲13	1,534,000	108.0
合計	379	475,443,775	83	7,278,145	101.6
前年度	296	468,165,630	25	▲15,609,399	96.8

(助成実績は別冊統計資料 14～49 ページ)



第2部 事業実施状況

近年、地域生活課題が多様化、個別化、複雑化しており、制度外ニーズ、社会的孤立への対応が求められている。また、社会貢献活動の多様化等に伴い募金額が減少するなど、課題も大きくなっている。

そこで、さらなる赤い羽根共同募金運動の推進を図るため、令和2年度は次の6本柱(重点方針)に沿って活動を展開した。

1 地域生活課題の多様化へ対応するための助成プログラムの充実

既存の制度やサービスでは対応できない多様な地域生活課題を解決するため、地域共生社会の実現に向けた先駆的な取り組みを支援する助成プログラムを創設するなど、幅広い助成プログラムを用意する。

- 「地域共生社会」の実現のための助成
- 頻発する災害への対応力強化のための助成
- 子どもを孤立から守るための助成

2 寄付者の意向に応えるための多様な寄付の受け入れ強化

募金増額に向け、「助成の見える化」により戸別募金の増強を図るとともに、課題解決プロジェクト募金、インターネット募金や遺贈・相続寄付など、新たな募金手法に挑戦していく。

また、社会貢献に関心を寄せる企業に対して、地域共生社会づくりにつながるSDGsの趣旨に即した寄付、寄付つき商品、物品寄付、社会貢献型自動販売機、企業や従業員からの寄付など、寄付者の意向に適切に応えるための多様な寄付の受け入れ方を提案していく。

3 頻発する災害への対応力強化

近年、頻発する地震や風水害等の災害を受けて、災害への地域の対応力を強化するため、災害等準備金、緊急等助成資金を活用した災害ボランティアセンターに係る助成をはじめ災害義援金の募集など、被災地支援の充実強化を図っていく。

4 広報の強化～赤い羽根の知名度活用～

ロゴマーク、キャラクター、メインテーマの活用、助成プログラム名称に「赤い羽根」の冠を付す、広報用DVDの活用、マスコミへの資料提供など、「赤い羽根」の知名度を活用した積極的な広報に努める。

また、NHK歳末たすけあいでは、「70回目」をキーワードに、日本放送協会静岡放送局と連携した広報を行う。

5 社会福祉協議会との連携強化

募金活動及び助成活動で大きな役割を果たしている県及び市町社会福祉協議会との連携を密にして、共同募金運動の活性化や運用改善に取り組む。

6 組織の活性化と開かれた組織

運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援する。

経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。

第1 募金活動

共同募金は地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち(助成計画)や目標額(募金計画)を定めて行う計画募金である。そのため地域福祉活動ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。



1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 共同募金の実施に先立ち静岡県社会福祉協議会に対して、社会福祉法第119条の規定に基づき目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として、地域福祉活動計画等を定め地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、現地調査の際に意見交換を行い現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2 助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金運動の基礎となるものであるため、毎年社会的ニーズに合わせて見直し(新規メニューの追加など)を行い、助成基準の明確化、助成事例の例示など寄付者と助成先の双方に分かりやすい内容とした。

また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで制定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、偏りのない幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和2年4月1日(水)～5月15日(金)
----------	----------------------

(広報方法)

- (1) 助成要綱・要領を広く住民が閲覧できるようホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、福祉施設・団体等に直接助成案内を送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、男女共同参画センターあざれあ、静岡県NPOセンターに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 各市町共同募金委員会ではそれぞれの地域で助成説明会を開催

4 助成計画の策定と目標額の設定

(1) 助成申請を基に助成計画を策定し、これに経費を加え募金目標額とした。特に、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、控えめに5億4000万円とし、配分委員会の承認後、7月13日の理事会で決定した。

(2) 社会福祉法第119条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法を、9月26日の静岡新聞紙上で公告した。

■令和2年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額 (単位:千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経費 ②	目標額 (①+②)
	件数	申請額			
一般募金	124	287,735	288,103 《274,351》	68,188	342,539
地域歳末 たすけあい募金	34	170,182	170,182 《170,182》	5,549	175,731
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9月1日～10月31日		22,803 《20,916》	814	21,730
計	158 (159)	457,917 (473,757)	481,088 《465,449》 (507,659)	74,551 (74,551)	540,000 (568,000)

《 》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)

()書き:前年度実績

(助成計画、市町別目標額は別冊統計資料 2～3ページ)



5 広報活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

ア 共同募金運動への理解を深めるため、運動初日の10月1日(木)の通勤時間帯に静岡駅北口広場において、会長及び川勝知事等による街頭キャンペーンを実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、目的を募金活動から運動開始のPRに重点を置き、「感染症対策ガイドライン」に基づいた感染予防対策を行い、少人数での街頭キャンペーンとした。

募金実績	20,913円	(前年度 15,843円)
------	---------	---------------

イ 20市町共同募金委員会においても、10月1日の運動開始以降、駅や繁華街等において、福祉団体関係者、ボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で規模縮小や中止を余儀なくされ、開催回数は、延べ111か所(前年比35%)にとどまった。

(例)東日本旅客鉄道(株)の承認をうけ10月~12月の16日間、伊東駅構内で街頭募金を実施

② 「使いみちの見える化」を図り新たな募金につなげるため、運動開始前に本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配付(又は回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の約74%を活用している市町社会福祉協議会が行う助成事業を中心に掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

③ 「広報用ビデオ」を自治会・町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

④ 各世帯、企業、学校などに各種資材を使用し広報活動を実施した。

	資材名	作成・購入数	備考
本 会 作 成 ・ 購 入	赤い羽根(シール・針)	1,705,000本	各世帯用(購入)
	ポスター(静岡県版 B2・B3・A2)	12,200枚	各所掲出用(作成)
	赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	33,500枚	寄付者用(作成)
	市町版各戸配布用チラシ(A4)	876,210枚	各世帯用(作成)
	法人開拓用チラシ(A4)	20,800枚	企業用(作成)
	学校募金ハンドブック(静岡県版)(12頁)	7,000冊	各学校(作成)
	全県版パンフレット(A3)	3,000枚	一般用(作成)
	募金ボランティアバッジ	5,160個	募金ボランティア用(購入)
	ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	27,000枚	// (作成)
	募金ボランティア委嘱状(A5)	3,000枚	// (作成)
	共同募金たすき	20本	街頭用(購入)
	静岡県知事名挨拶状(A4)	13,200枚	企業用(作成)
	静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状(A4))	52,350枚	15商工会議所会報誌に同封(作成) ※うち4,400枚は会報誌に印刷
	静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状(A4)	6,320枚	10商工会(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	70,950枚	戸別等市町共募領収書(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	26,575枚	// (作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(冊子型)	71,400枚	法人等税控除用領収書(作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(バラ型)	17,510枚	// (作成)
	払込取扱票	27,500枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
	中 央 共 募 作 成	企業向パンフレット	2,460冊
基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)		885冊	一般用(購入)
子ども向パンフレット		1,340冊	学校用(購入)
壁新聞(B2)		1,850枚	// (購入)
赤い羽根ブランドブック		295冊	一般用(購入)
子ども用ワッパン(ドラえもん)		12,710個	学校用(購入)
子ども用クリアファイル		4,000枚	// (購入)
募金バッジ		141個	寄付者用(購入)
エコバッグ		87個	募金ボランティア用(購入)
ボールペン		2,895本	// (購入)
赤い羽根ステッカー		3枚	各所掲出用(購入)
赤い羽根協力店シール		3枚	// (購入)



資材名	作成・購入数	備考
募金箱用チラシ	910枚	一般用(購入)
スタンド式募金箱	18個	// (購入)
街頭肩掛募金箱	25個	街頭用(購入)
卓上募金箱	115個	一般用(購入)
職域募金箱	2,925個	// (購入)
組立式募金箱(ドラえもん)	51,260個	学校用(購入)
募金箱用チェーン	75本	募金箱用(購入)
募金箱用鍵	18個	// (購入)
共同募金のぼり旗(ポール付)	1本	街頭用(購入)
// (旗布のみ)	77枚	// (購入)
スタッフジャンパー	31枚	街頭用(購入)
プレミアム赤い羽根バッジ	42個	役職員用(購入)
寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	540個	寄付つき商品用(購入)
寄付つきクオカード	3,197枚	// (購入)
寄付つき図書カード	1,752枚	// (購入)

(2) ホームページによる広報

ホームページを活用し、共同募金運動の実施状況や助成情報を提供するとともに、寄付者への感謝と募金の「使いみちの見える化」に努めた。

- ① 助成情報の周知(助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組み)
- ② 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開
- ③ 学校や企業・団体による寄付金贈呈式や寄付に対する感謝状贈呈式の掲載
- ④ 募金箱を設置しているスーパーマーケットやイベント募金に取組む企業等を取材し、企業の社会貢献活動をアピール
- ⑤ 課題解決プロジェクト募金の参加団体が掲げるテーマとその目標額・実績額(随時更新)を掲載し、インターネットから寄付ができる仕組みの強化
- ⑥ 中央共同募金会とリンクして、全国キャンペーンや共同募金に関する情報を発信
- ⑦ 助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化

(3) 報道機関の広報協力

- ① 8月25日、会長及び常務理事が民放テレビ局(4局)、NHK静岡放送局の代表者を訪問し、共同募金運動及び助成先の報道、プレミアム赤い羽根バッジ販売の広報について直接協力依頼をした。その結果、次のとおり、助成先の取材を基に共同募金の意義や使いみちについて報道された。

■テレビ・ラジオ報道

放送局名	番組名	取材先	放送日
静岡第一テレビ	しずおかプレミアアプリ(しずぷり)	多文化共生を考える焼津市民の会「いちご」(焼津市)	10/2
	ニュース(真相報道バンキシャ!内)		9/6
静岡放送(SBS)	JNN ニュース	静岡県聴覚障害者協会「ろう高齢者交流事業」	9/18
NHK静岡放送局	たっぷり静岡	静岡県補助犬支援センター「心で観る彫刻展～触ってみよう、作ってみよう、みんなのアート～」	9/30
	ラジオお知らせ	プレミアム赤い羽根バッジ紹介	随時
FM-Hi!	ひるラジ!静岡情報館	課題解決プロジェクト募金の紹介	3/15

■新聞報道

新聞名	記事内容	掲載日
静岡新聞	新型コロナ対策フードバンク応援事業	5/20、30
	寄付金贈呈式(静岡キワニスクラブ)	6/16
	協力依頼(後藤会長の訪問)、使いみち紹介、今後の啓発活動	8/26
	知事報告(9/24)	9/16



街頭キャンペーン(10/1)	10/1
災害等準備金拠出(熊本県共同募金会 令和2年7月豪雨災害)	11/25
課題解決プロジェクト募金	1/4
寄付金贈呈式(生活協同組合ユーコープ)	1/23
寄付金贈呈式(静岡英和女学院生徒会)	3/20
助成金交付説明会(3/26)	3/28
寄付金贈呈式(静岡葵ライオネス支部)	3/30

- ② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民間テレビ4局・ラジオ3局、ケーブルTV10局、コミュニティFM7局、インターネットラジオ1局)に提供し報道協力を得た。
- ③ 70回目を迎えたNHK歳末たすけあいでは、日本放送協会が、寄付者、助成先の取材を基に、共同募金の意義や使いみちの事例を報道した。また、今年度はコロナ禍に苦しむ人達を応援するNHKウィズコロナ・プロジェクト『みんなでエール』の中でNHK歳末たすけあいも積極的に広報した。

放送局名	番組名	取材先	放送日
NHK総合	「あなたのやさしさを2020～NHK歳末たすけあい～」	(特非)かっぱらば編集室「1日児童館かっぱら広場」(静岡市)	12/1

(4) 地元サッカーチームの広報協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の全面協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん & ジュビロくん)の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

令和2年度は、「みんなにとどけ 赤い羽根」をキャッチコピーに、ポスター12,200枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(180枚)、清水銀行(50枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。

令和2年度ポスター



(5) 赤い羽根バルーンによる広報協力

令和元年度までは、各金融機関に市町共同募金委員会が行う各種キャンペーンに活用する赤い羽根バルーンへの協賛依頼を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各種キャンペーンが実施できないことが予想されたため依頼を取りやめた。

(6) 静岡県による広報協力

- ① しずおか県民だより10月号において、スローガン等が掲載された。
- ② 県庁にポスターとのぼり(4箇所)が掲出され、募金箱(3個)が設置された。また、健康福祉センターにポスター(7箇所)が掲出された。
- ③ SBS ラジオ「県庁ニュース ふじのくに！」でコロナ禍におけるたすけあい運動の呼びかけについて放送された。

(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか“むすぶつなぐ”10月号」に、赤い羽根共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、コロナ禍における赤い羽根の取り組みや、「こども食堂誕生日会・授産製品応援事業」による募金の使いみち等が紹介された。(11,300部 県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業、県内小中高等学校等に配付)

6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(令和2年10月1日～令和3年3月31日の6カ月間)

社会福祉協議会や広域活動団体が行う地域福祉活動支援事業、社会福祉施設の機器整備、こども食堂誕生日会・授産製品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。



また、参加団体が課題解決を呼び掛ける課題解決プロジェクト募金(使いみちを選べる募金)、ネット募金、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品(募金百貨店)の提案、寄付物品の受け入れなど新しい募金手法にも挑戦した。

今年度は、未曾有のコロナ禍により従来の運動方法が制限されるなど苦しい運動となったが、感染症対策ガイドラインを定め、多くのボランティアの皆さんと安全で安心できる運動に努めた。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	342,539,000	309,990,418	90.5	▲15,840,820	95.2
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(6,157,000)	(6,557,589)	(106.6)	(2,191,553)	(150.2)



■募金方法別の分析

募金方法	対応	募金額 前年比	新型コロナの影響
戸別募金	・全世帯へ協力依頼チラシの配布回覧 ・積極的な広報によりマスコミでの露出度を高める	98.3%	自治会・町内会の協力により影響が少なかった
法人募金	・振り込みによる寄付の推奨(非接触型) ・商工会議所等の経済団体に直接協力依頼 ・民生委員に衛生面に配慮した運動方法を説明	90.4%	対面式の寄付依頼ができずに苦戦
街頭募金	・目的を募金からPRに変更 ・衛生面に配慮した運動であることを周知	30.2%	実施できなかったところが増加、募金実績も大幅に減少
学校募金	・教育委員会、高等学校長協会の会議で協力依頼 ・学校募金ハンドブックの活用依頼	101.2%	高校生徒会を中心に募金実績が増加
職域募金	・共同募金の必要性を丁寧に説明 ・WEB募金箱の提案	97.7%	静岡県庁などで前年を上回り、ほぼ前年並となった

① 一般募金(令和2年10月1日~12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などにより円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合に出向き、広報用ビデオ等を活用し募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事への報告及び協力依頼

令和元年度の募金・助成活動の報告と10月1日の街頭キャンペーンの参加依頼を行った。

月日	内容	出席者
令和2年5月15日(金)	令和元年度の募金・助成活動の報告	県健康福祉部長が代理で報告
令和2年9月14日(月)	令和2年度への協力依頼	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて 一自治会連合会へお礼と協力依頼一

今年度は静岡県自治会連合会の総会がコロナ禍のため開催されなかったため、文書で令和元年度の募金・助成活動の報告と令和2年度の協力依頼を行った。

ウ 法人募金増強に向けて 一各団体へお礼と協力依頼一

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
令和2年7月22日(水)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和2年9月11日(金)		研修会
令和2年8月5日(水)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
令和2年9月3日(木)	浜松市民生委員児童委員協議会	理事会



■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
令和2年5月20日(水)	静岡県経済同友会	訪問依頼
令和2年8月7日(金)	(一社)静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議※1
令和2年8月18日(火)	静岡県商工会連合会	訪問依頼※2
令和2年9月4日(金)	(一社)静岡県医師会	訪問依頼※3
令和2年9月29日(火)	(一社)静岡県建設業協会	理事会※4
令和2年9月29日(火)	静岡県中小企業団体中央会	訪問依頼※5

※1 静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※2 静岡県商工会連合会会長及び商工会会頭の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※3 静岡県共同募金会会長の自署による「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を静岡県医師会が発行する会報誌に掲載して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※4 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、静岡県建設業協会のホームページに本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼を掲載した。

※5 静岡県中小企業団体中央会のホームページに「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を掲載して、会員に対して共同募金への協力を呼びかけた。また、職域募金の協力を呼びかけた。

■金融機関

月日	対象	内容
令和2年8月24日(月)	県内地方銀行 3 行	・手数料免除 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼
令和2年8月24日(月)	県民共済生活協同組合	・職域募金 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼
令和2年9月24日(木)	県信用農業協同組合連合会	・手数料免除

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進と募金実績(職域募金、自動販売機を含む)

依頼先	設置数	設置期間	寄付金額(円)	備考
国の出先機関	130	10月~3月	34,507	22機関
静岡県庁	900	10月~12月	1,283,991	541部署 (一般募金 846,690 円 NHK歳末 437,301 円)
静岡県庁売店	1	年間	0	
株式会社サンコートラベル	1	年間	0	
静岡県教育会館	1	年間	0	
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	94	10月~3月	77,411	13団体
静岡県内の郵便局	483	10月~3月	636,841	400箇所
(公財)静岡市まちづくり公社	1	年間	4,270	1箇所
静岡県建設業協会	2	年間	17,915	1社 (自販機・募金箱含む)
(株)エスパルス	4	10月~12月	150,792	4店舗 (自販機・募金箱含む)
(株)ジュピロ	2	10月~12月	169	2店舗
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	年間	100,644	2精舎



依頼先	設置数	設置期間	寄付金額(円)	備考
富士山静岡空港出国ロビー免税店	1	年間	0	1店舗
全日本空輸(株)静岡空港所	1	10月~12月	1,808	1社
(株)静岡銀行	180	年間	1,304,217	130店舗 (自販機・募金箱含む)
静銀リース(株)	1	10月~12月	10,730	1社
(株)静岡鉄道(静鉄ホテルプレジオ)	3	年間	8,095	3店舗 (自販機・募金箱含む)
(株)中部特機設備	1	10月~12月	0	
こだいらクリニック	1	10月~12月	0	
東洋海運(株)	1	10月~12月	0	
(株)大成住宅	1	10月~12月	0	
シーラック(株)	1	10月~12月	0	
矢崎化工(株)	1	10月~12月	0	
静銀ティーエム証券(株)	1	10月~12月	0	
(株)タケエイメタル	1	10月~12月	0	
(株)ゾーン・アーキテクト・スタジオ	1	10月~12月	5,371	1社
(株)エンチャー	52	10月~12月	234,939	県内41店舗 198,109円 県外11店舗 36,830円(他県共募)
(株)オークワ	1	10月~12月	0	
(株)静鉄ストア	31	10月~12月	138,786	31店舗
(株)遠鉄ストア	33	10月~12月	100,000	33店舗
(株)ヒバリヤ	7	10月~12月	11,484	7店舗
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	41	10月~12月	186,020	39店舗
(株)ユーマート	8	年間	6,488	1店舗
生活協同組合ユーコープ	18	12月	127,296	18店舗
沓間水産(株)(沼津魚がし鮨)	20	年間	50,000	20店舗
静岡県麺類業生活衛生同業組合	13	10月~12月	2,480	2支部
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	16	10月~12月	0	
静岡県飲食業生活衛生同業組合	9	10月~12月	0	
静岡県鮎商生活衛生同業組合	17	10月~12月	11,105	1支部
静岡県理容生活衛生同業組合	29	10月~12月	27,200	8支部
静岡県美容業生活衛生同業組合	4	10月~12月	0	
静岡県書店商業組合	15	年間	5,205	2店舗
(株)戸田書店	10	年間	33,675	4店舗
(株)谷島屋	20	年間	22,844	3店舗
(株)江崎書店	4	年間	0	
MARUZEN&ジュンク堂	1	年間	0	
計(44)	2,165		4,594,283	
前年度(40)	1,980		4,919,290	

オ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など 5 種類の募金箱54,343 個(前年度 58,516 個)を市町共同募金委員会を通じて無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ 学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブック(静岡県版)を県内の小学校・中学校・高等学校に4冊ずつ配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。



月日	主催	対象
令和2年4月8日(水)	静岡市教育委員会	静岡市校長会(理事会)
令和2年5月29日(金)	静岡県高等学校長協会	高等学校長理事(理事会)
学校募金ハンドブックの配付を依頼	浜松市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡県私学協会	学校法人理事長・校長
	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長(政令市含む)
		公立小、中学校長(政令市除く)
公立高、特別支援学校長(市立高含む)		

② 課題解決プロジェクト募金(令和3年1月1日～3月31日)

課題解決プロジェクト募金(旧名称:使途選択募金)は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者にとっては「使いみちを選択できる」新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費2%、クレジットカード手数料3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。

平成25年度から始まり、8回目となった今年の募金は、コロナ禍での苦しい募金活動となったが、丁寧な説明と組織的・計画的なアプローチが功を奏し、昨年度の1.5倍の実績となった。

No	団体名	テーマ	目標額(円)	寄付件数	実績額(円)	助成額(円)
1	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	みんなで支える移動支援サービス	817,000	185	815,994	799,045
2	特定非営利活動法人 駒越地区社会福祉協議会	買い物(移動)支援事業	310,000	86	450,402	441,124
3	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成 継続事業	562,000	81	687,409	673,181
4	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	ふじのくに生活困窮者 自立支援基金事業	410,000	70	1,376,052	1,348,021
5	特定非営利活動法人 POPOLO	静岡 POPOLO ハウス 運営事業	380,000	12	446,100	437,178
6	特定非営利活動法人 てくてく	問題を抱えたひきこもり、ニート当事者やその家族のプラットフォーム作り	512,000	32	298,641	292,669
7	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談 スタッフ初級養成講座 開催事業	200,000	34	245,100	239,778
8	社会福祉法人 静岡いのちの電話	いのちの電話カード配布事業	138,000	33	185,500	181,790
9	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者こころの支援事業	261,000	30	259,100	253,078
10	NPO法人 サステナブルネット	貧困の子ども達に対する食糧支援	1,437,000	28	531,100	515,258
11	特定非営利活動法人 湖西なるっパスクール	次代を担う自立した心豊かな青少年を育成する事業	368,000	147	387,100	378,788
12	特定非営利活動法人 オールしずおかベストコミュニティ	カフェ就労～障がいのある人の自立を考える みんなの集い	200,000	11	159,091	155,610
13	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	だれもが安心して住み続けられる共生社会づくり事業	562,000	78	716,000	701,290
計 (13)			6,157,000	827	6,557,589	6,416,810
前年度(13)			6,449,000	752	4,366,036	4,277,702

(詳細は別冊統計資料 42ページ)



(2) 地域歳末たすけあい募金(令和2年12月1日から12月31日までの1カ月間)

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	175,731,000	179,791,721	102.4	▲6,838,0158	96.4

(3) NHK歳末たすけあい(令和2年12月1日から12月25日までの25日間)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために70回目の募金活動を行った。

特に、令和2年度は日本放送協会がコロナ禍に苦しむ人達を応援するNHKウィズコロナ・プロジェクト『みんなでエール』を実施し、その一環でNHK歳末たすけあいも積極的に広報したこともあり、募金額が大幅に増加した。

- ① 日本放送協会静岡放送局はテレビ番組やラジオ放送の中で募金活動を呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 運動初日に、静岡精華幼稚園の協力を得て、静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部(NHK海外たすけあい)とともに受付窓口オープンキャンペーンを行った。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	21,730,000	19,214,141	88.5	2,971,575	118.3

■受付状況

受付窓口	件数	寄付額(円)	内 訳					
			取り扱い	件数	寄付額(円)			
中央共同募金会	1,361	15,853,490	県下各郵便局、信用金庫ほか					
NHK静岡放送局	123	1,431,965						
			静岡県共同募金会	309	1,928,686	地方銀行3行扱い	28	777,514
						農協扱い	70	707,481
						漁協扱い	2	6,390
						事務局扱い 他	209	437,301
県内窓口	432	3,360,651						
計	1,793	19,214,141						
前年度	1,486	16,242,266						

7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

(1) 社会貢献型自動販売機による寄付

売り上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。(50音順)

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アサヒ飲料販売(株)	8	29,507
(株)アパックス	2	58,361
アシード(株) 静岡営業所	1	9,887
(株)伊藤園	52	597,125
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	50	246,726
サントリーフーズ(株)	2	18,150
サントリービバレッジサービス(株)	19	101,031
(株)栗堂	1	1,763
静岡塩業(株)	10	11,321
(株)ジャパンビバレッジホールディングス	34	167,144
ダイドードリンコ(株)	158	1,382,797



中央静岡ヤクルト販売(株)	4	24,101
(株)ツキジベンディング	(12)	7,758
東海ビバレッジサービス(株)	70	544,246
トーヨーベンディング(株)	1	21,236
ナショナル・ベンディング(株)	5	44,658
西静岡ヤクルト販売(株)浜松支社	1	4,385
(特非)ハートフル福祉募金	15	376,914
フクロイ乳業(株)	2	14,150
(株)富士テレネット	12	10,197
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	8	80,063
ユニヴァーサル商事(株)	41	219,833
その他	9	11,041
計	505	3,982,394
前年度	510	4,636,068

※設置台数は、令和3年3月31日現在(設置先別台数一覧は別冊統計資料13ページ)

※()は他社に事業譲渡済み

(2) 物品による寄付

会社移転などに伴い不要となった事務機器やお祝いの胡蝶蘭などの物品を積極的に共同募金に寄付として受け入れ、その物品を社会福祉施設に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、社会福祉事業等へ貢献する新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
一般募金	はごろもフーズ(株)	鉢植(胡蝶蘭)	36	1,080,000
	はごろもフーズ(株)	鉢植(胡蝶蘭)	3	90,000
	はごろもフーズ(株)	食品(製品詰合せ)	7	33,000
	はごろもフーズ(株)	食品(缶詰)	5,820	855,871
	(株)静岡第一テレビ	鉢植(胡蝶蘭)	4	120,000
	(株)静岡第一テレビ	鉢植(胡蝶蘭)	31	930,000
	(株)静岡第一テレビ	備品(事務機器)	143	1,013,978
	木内建設(株)	鉢植(胡蝶蘭)	21	630,000
	木内建設(株)	備品(事務機器)	5	82,500
	木内建設(株)	鉢植(胡蝶蘭)	131	3,930,000
	木内建設(株)	鉢植(胡蝶蘭)	10	300,000
	木内建設(株)	鉢植(胡蝶蘭)	23	720,000
	アサヒ飲料(株)	飲料水(カルピス他)	10	33,600
	志太榛原地域労働者福祉協議会	備品(事務機器)	16	65,237
	静岡県労働金庫	備品(事務機器)	34	130,345
	信号器材(株)静岡営業所	備品(事務機器)	17	59,294
	小計	16件	6,311	10,073,825
	新型コロナ対策フードバンク応援事業	はごろもフーズ(株)	食品(缶詰)	20,220
はごろもフーズ(株)		食品(ふりかけ)	4,200	390,315
はごろもフーズ(株)		食品(缶詰他)	23,400	2,029,953
(株)茶通亭		食品(お茶他)	34,393	1,073,422
(株)サティー		食品(チョコレート)	960	1,056,000
レンゴー(株)		段ボール	1,000	100,000
伊藤食品(株)		食品(缶詰)	6,624	490,140
小計	7件	90,797	7,781,374	
計	23件		17,855,199	
前年度	8件		3,061,023	

(助成一覧は別冊統計資料27~41ページ)



(3) 寄付つき商品による寄付

① 募金百貨店プロジェクト

募金百貨店は“赤い羽根”共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。募金百貨店への登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業、購入者にとっては、地域社会に貢献するしくみとなるので、積極的に企業に提案している。

■登録商品一覧

	第1号	第2号
登録企業	(株)エスパルス	はごろもフーズ(株)
登録商品	エスパルスオリジナル洗えるマスクなど 11種類のマスク	ガチャガチャ「缶詰」リングコレクション」
価格/数量	800円~1,980円(税込)/16,000枚	300円/374 個
寄付金額	2,466,664 円	112,200 円
寄付先	新型コロナ対策フードバンク応援事業	一般募金
販売期間	令和2年3月28日~9月30日	令和2年1月21日~9月30日
販売場所	エスパルスオフィシャルオンラインショップ	はごろもフーズ(株)本社他

② プレミアム赤い羽根バッジによる寄付

共同募金のシンボルである「赤い羽根」に親しみを持っていただくとともに、共同募金運動の認知度を高めるために、平成29年度から寄付つき商品として「プレミアム赤い羽根バッジ」を取り扱い、着用を推進した。

【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

窓口	個数	寄付額(円)	備考
本会(ゆうちょ銀行払込等)	360	171,360	・寄付額476円×360個
静岡県庁(県職域募金)	71	33,796	・寄付額476円×71個
静岡県庁東館 2 階 喫茶ぴあ~	48	22,848	(福)明光会による窓口取扱業務の協力 ・寄付額476円×48個
計	479	228,004	
前年度	210	101,607	

③ その他の寄付つき商品による寄付

【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
赤い羽根クオカード	3,197	1,227,648	寄付額384円×3,197 枚
赤い羽根図書カード NEXT	1,752	699,048	寄付額399円×1,752 枚
計	4,949	1,926,696	
前年度	4,455	1,770,015	

(4) ネット募金

中央共同募金会のオンライン寄付サイトからクレジットカードによりネット募金が簡単に行えるように、本会ホームページの入力画面の簡素化を図った。

また、中央共同募金では、企業が作るオンライン寄付サイトから、様々な方法(クレジットカード、ポイント、仮想通貨等)で寄付できる仕組みづくりに取り組んだ。

募金種別	ネット募金の種類		件数	寄付額(円)
一般募金	中央共募オンライン寄付サイト	ふるさとサポート募金(クレジットカード)	44	1,117,836
	TwitterJapan	クリスマスボックス forgood プロジェクト(ツイッター社から1ツイート0.5円寄付)	-	106,382
	Yahoo!	Yahoo! ネット募金(クレジットカード)	-	7,117
	ウェブマネー	ネット決済用プリペイドカードによる寄付	-	357
	ファミリーマート	Fami ポート募金(コンビニ支払)	-	8,532
	ソフトバンク	つながる募金(電話料金と同時支払)	-	342
		小計	44	1,240,566
新型コロナ対策フード	中央共募オンライン寄付サイト	新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン募金(クレジットカード)	20	1,002,769



バンク応援 事業	PayPay	ペイペイ残高による寄付	1	362,233
	小計		21	1,365,002
計			65	2,605,560
前年度			7	59,832

(5) 中央共同募金会受付の寄付金(静岡県分)

寄 付 者	件数	寄付額(円)
(株)マルハンユニオン	1	795,518
ブックオフコーポレーション(株)	1	17,267
東洋羽毛工業(株)	1	586
ゼブラ(株)	1	45
(株)ガイア	2	7,520
その他	11	56,250
計	17	877,186
前年度	19	987,603



第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、1月から2月にかけて配分委員会委員による実施調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での承認を経て、3月11日の理事会において、次のとおり決定し助成した。(令和3年5月14日公告)

助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「感謝の気持ちの伝達」の徹底に努めた。

1 共同募金による助成

(1) 令和2年度共同募金による助成

令和2年度共同募金運動による寄付金等を財源に次の助成(2年度及び3年度実施事業)を行った。

(単位:円)

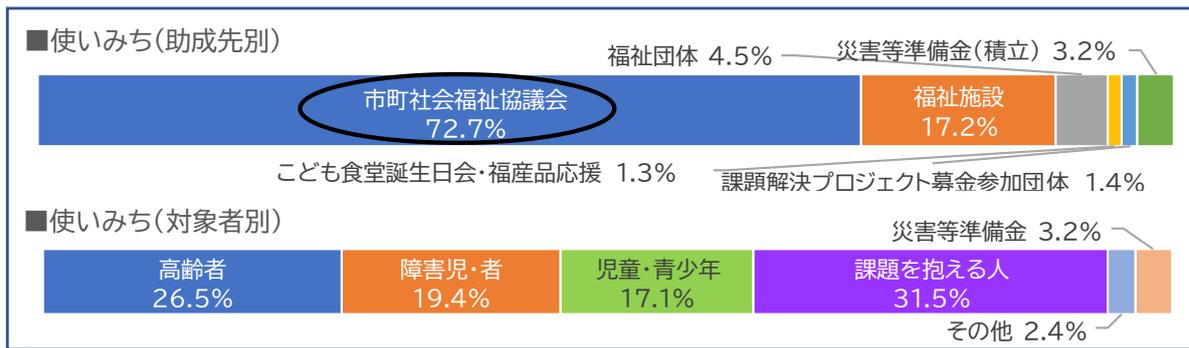
区分	助成種別	助成先	件数	2年度実施 事業助成額	3年度実施 事業助成額	計	
一般 募金	地域 助成	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35	0	137,919,682	137,919,682
			市町社会福祉協議会 (年度内精算分)	(23)	0	30,635,210	30,635,210
		小計		35	0	168,554,892	168,554,892
	広域 助成 枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会 (機器整備)	3	0	2,062,000	2,062,000
			広域福祉活動団体	16	0	20,100,000	20,100,000
		福祉施設機器整備事業	社会福祉施設・団体	45	0	51,672,000	51,672,000
		子ども食堂誕生日会・福 産品応援事業	障害者就労支援団体	1	0	6,000,000	6,000,000
		地域共生社会づくりモ デル事業	市町社会福祉協議会	2	0	280,000	280,000
		災害等準備金	(積立)	—	0	15,020,000	15,020,000
	物品寄付ほか	社会福祉施設・団体	166	10,163,639	0	10,163,639	
	小計		233	10,163,639	95,134,000	105,297,639	
	課題解決プロジェクト募金	参加団体	13	0	6,416,810	6,416,810	
	計		281	10,163,639	270,105,702	280,269,341	
地域歳末 たすけあ い 募金	地域歳末たすけあい事業	市町社会福祉協議会	33	123,122,609	0	123,122,609	
	地域福祉活動支援事業 (翌年度分)	市町社会福祉協議会	(31)	0	51,334,825	51,334,825	
	計		33	123,122,609	51,334,825	174,457,434	
NHK歳 末 たすけあ い	年末年始支援活動助成	福祉活動団体	16	1,100,000	0	1,100,000	
	年末年始施設利用者支援助 成	児童福祉施設、 更生施設他	47	10,661,000	0	10,661,000	
	就職等自立支援助成	児童養護施設協議 会、里親連合会	2	0	8,956,000	8,956,000	
	計		65	11,761,000	8,956,000	20,717,000	
合計		379	145,047,248	330,396,527	475,443,775		
前年度		296	155,515,574	312,650,056	468,165,630		

【助成財源】

①令和2年度共同募金 ②災害等準備金取崩金(平成28年度積立)13,752,831円 ③年度内精算分(令和元年度共同募金により令和2年度に市町社会福祉協議会が行う地域福祉活動支援事業のうちコロナ禍で実施できなかった分は令和3年度事業分として再助成)30,635,210円など

()書きは市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業、地域歳末たすけあい事業との重複件数

(詳細は別冊統計資料 14～49 ページ)



2 緊急等助成資金による助成

平成27年度末に繰越金が多額になったため、所轄庁(当時は静岡県)の指導により、目的を明確にした基金として積み立て計画的に助成に回すこととし、従前からあった積立金「緊急助成資金」に、繰越金のうち1億2000万円を積み増して、名称も「緊急等助成資金」に改めた。

令和2年度は、災害緊急助成実施要領に基づき、この緊急等助成資金を取崩して、次の助成を行った。

(1) 災害ボランティア活動用資機材助成事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
伊豆市社会福祉協議会 ほか	災害活動用資機材 収納庫	14 件	7,940,572
前年度		12 件	5,494,774

(助成一覧は別冊統計資料 47~49 ページ)

(2) 新型コロナ対策フードバンク応援事業(詳細は 18 ページ参照)

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
特定非営利法人 フードバンクふじのくに	フードバンク事業	1 件	518,663
前年度		—	—

■緊急等助成資金残高

(単位:円)

前年度末 残 高	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度取崩額	当年度末 残 高
151,861,616	0	8,459,235	143,402,381

※当資金の適正規模は1億円程度と想定。

3 助成効果の測定と実地監査の実施

助成先から助成事業完了後に「用途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。

(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動

- ① 市町社会福祉協議会について、配分委員が直接事務局を訪問し、助成事業の実施状況を調査する予定であったが、今年度は新型コロナの影響で実施できなかった。

実地調査実施社協	新型コロナの影響により実施できず
----------	------------------

(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)

- ① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。

- ② 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成



に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。

- ③ 高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査(今年度は新型コロナ影響で書面監査)を行った。全助成事業が適正に実施されていたが、見積合せ、契約など事務処理では、法人の規程に従っていないものがあつたため、文書指摘等を行い、改善措置状況の報告を求めた。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

助成年度	事業 実施年度	助成区分	件数	助成金額 (千円)	指摘事項
平成29年度	平成30年度	福祉施設 機器整備	3	9,782	文書指摘 2 件(見積、契約)
平成30年度		当年度 機器整備	6	16,467	指摘なし
平成30年度	令和元年度	福祉施設 機器整備	9	23,945	文書指摘 6 件(見積、契約)
計			18	50,194	文書指摘 8、指摘なし 9

- (3) 広域活動団体による地域福祉活動

講座、研修等は、福祉サービスの向上につながる人材養成やネットワーク構築に効果が見られた。



第3 新型コロナウイルス感染症への対応

1 コロナ禍での共同募金運動

(1) コロナ禍での共同募金運動の実施方針の通知

コロナ禍での共同募金運動について不安を抱く市町共同募金委員会に対して、5月21日付けで会長から市町共同募金委員会会長あてに、今年度の共同募金運動の実施方針を通知した。

令和2年度赤い羽根共同募金運動の実施方針

- 1 赤い羽根共同募金運動は、原則として、従来どおりの方法で実施する。
- 2 募金活動に当たっては、寄付者及び募金ボランティアの感染予防対策に十分配慮した方法で行う。
- 3 目標額は、福祉ニーズに基づいて設定するが、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ柔軟に対応する

(2) コロナ禍での目標額(助成計画)の設定

令和2年度共同募金目標額は、新型コロナウイルス感染症が募金活動にどのような影響を及ぼすか予測できないため、令和2年度に限り前年比95%と抑え目に設定した。(広域目標額は前年比約1割減)

(3) 共同募金運動における感染症対策ガイドラインの策定

中央共同募金会が医師の監修を得て全国統一的に作成した「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」をベースに、コロナ禍において、安全で安心できる共同募金運動を行うための基本的な考え方を「感染症対策ガイドライン」として取りまとめ、市町共同募金委員会と共有した。

募金活動においては、3密を避けるため、従来の対面式、訪問式、イベント式の募金活動を控え、郵送による募金依頼、ネット募金の導入など新しいスタイルの募金活動を推進した。

(4) 令和元年度共同募金による市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業

① いま必要な事業への柔軟な事業変更～新型コロナ対策事業への活用～

令和元年度の共同募金を財源として、市町社会福祉協議会が令和2年度に実施する地域福祉活動支援事業は、コロナ禍により中止になる事業があるなど、多くの影響が出た。

中止となった事業の助成金は、全国共通助成テーマ「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」の要素を意識した新型コロナ対策事業など「いま必要な事業」へ柔軟に計画変更を行うよう依頼した。

■ 令和2年度に実施したコロナ禍に対応した赤い羽根助成事業(社会福祉協議会) 11社協27事業

事業カテゴリ	事業数	主な事業	内容
わたしたちのまちの福祉に	14	生活困窮者への食支援	生活困窮者のために年末年始の支援が届かない時期や緊急時に備え、フードバンクの食品をストックして配布
		新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の防止	コロナ禍での誹謗中傷など差別をなくし、互いを尊重することを学ぶ講座や取り組み
高齢者を応援する活動	9	ひとり暮らし高齢者の孤立防止	ひとり暮らし高齢者など孤立が懸念される方を見守り訪問、声掛け・電話訪問、手紙、絵葉書等のお便りを通じてつながる仕組みづくり
		コンビニとの協力による移動販売	決まった曜日と時間に安心して自宅近くで買い物ができる仕組みづくり
子育てを応援する活動	2	子どものいる生活困窮家庭の交流	コロナ禍により収入が減少した困窮家庭の子どもに、お菓子や食品、文具、マスクなどを配付
障害者を応援する活動	2	孤立を防ぐ居場所の工夫	外出の機会が少ない障害者の更なる孤立を防ぐために、感染対策を十分行ったサロンを開催

② 「年度内精算」による令和3年度事業への再助成(この扱いは令和2年度に限る)

①の事業変更で対応できなかった助成金は、令和3年1月末締めで3月までの執行見込額を含めた精算を行い、2月上旬に本会に残金をいったん返還させ(年度内精算)、返還された助成金は3月下旬に、改めて令和3年度事業用として当該社会福祉協議会へ再助成した。



(5) 事務費の臨時交付

「感染症対策ガイドライン」に基づき、募金活動での衛生管理を徹底するために必要な衛生用品類（消毒液、使い捨て手袋等）の購入費や協力依頼に伴う郵送費などの新たな費用に対応するため、市町共同募金委員会に対して臨時事務費を交付した。

臨時交付額予算枠	1,400千円(令和2年度市町広域目標額の1%)
市町共同募金委員会ごとの臨時交付額	20千円+市町広域目標額の0.5%を加算

2 新型コロナ対策フードバンク応援事業(全国キャンペーン)

令和2年3月から中央共同募金会が行う全国キャンペーン参加事業として、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な食事ができない人たちに食品を無償で提供する「新型コロナ対策フードバンク応援事業」を全国に先駆けて実施している。

【財源】当事業への寄付金(中央共同募金会への寄付金を含む)及び本会の緊急等助成資金

① 募金活動

ア 寄付金～「その他の寄付金」として受け入れ(令和2年5月8日～令和3年9月30日)

種類	件数	寄付額(円)	摘要
寄付金	57	6,803,024	銀行振込、ネット募金、PayPay等
中央共同募金会助成金	4	12,400,000	4回
寄付つき商品による寄付	11	2,466,664	2回
計	72	21,669,688	

イ 物品寄付(令和2年3月18日～令和3年9月30日)

区分	件数	寄付額(円)	数量(個)	摘要
食品	7	8,000,724	90,538	缶詰(おかず類、果物)、インスタント食品、菓子等
その他	1	100,000	1,000	段ボール
計	8	8,100,724	91,538	(R1)319,350円、(R2)7,781,374円

② 助成活動(助成対象期間 令和2年3月18日～令和3年9月30日)

助成日	助成額(円)	助成先
R2.3.18	3,000,000	NPO法人 フードバンクふじのくに(静岡市葵区駿府町1-70)
R2.5.29	7,000,000	
R2.10.14	10,000,000	
計	20,000,000	

③ 助成事業の事業実績(令和2年3月23日～令和3年3月31日の374日間)

【提供件数等】 4,261件 4,179世帯 10,147人

【食品提供量】 56,303kg

3 本会の新型コロナウイルス感染予防対策

令和2年3月頃から新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、4月16日から5月14日まで全国的に緊急事態宣言が発令されたため、本会でも次のような感染予防対策を実施した。

(1) 本会主催会議での感染予防対策

理事会、評議員(4月～6月)	書面決議(決議の省略)
配分委員会(現地調査)	実地調査のみ書面で実施
市町共同募金委員会事務担当者会議(3月) 課題解決プロジェクト募金説明会	中止
その他の会議	感染予防対策を実施して開催(マスク着用、消毒薬の設置、検温、十分な換気、社会的距離を確保等)

(2) 職員の勤務体制・職務環境の整備

① 事務室での感染予防対策

(ビニールシートのパーテーション設置、机の配置の見直し、換気の徹底、消毒液の設置等)

② 在宅勤務の促進(AM・PM出勤の2班勤務体制(4/17～5/17))、年休取得の促進

③ 感染又は感染の疑いのある場合の対応(職務専念義務の免除規程の制定)



第4 その他の活動

1 災害等準備金の状況

社会福祉法第118条に基づき、本県の災害ボランティア活動等(災害救助法が適用された災害が対象)を支援するため募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

(1) 令和2年度の準備金状況(取崩・積立) (単位:円)

前年度末 残高	当年度取崩額 (助成額、拠出額を含む)	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残高
61,672,831	16,972,831	15,020,000	59,720,000
	【内訳】 ・ H29積立分のうち令和2年7 月豪雨災害で熊本県へ拠出 3,220,000円 ・ H28 積立分の取崩 13,752,831円	【内訳】 ・ R2 積立分 R2 募金総額の3% 15,020,000円	【内訳】 H29積立 12,910千円 H30積立 16,090千円 R1 積立 15,700千円 R2 積立 15,020千円

(2) 災害等準備金のうち平成29年度積立分から下記のとおり拠出した。

拠出先	拠出額 (円)	使途	拠出日 (公告日)	備考
令和2年7月豪雨災害 (熊本県共同募金会)	3,220,000	災害ボランティアセンター の運営費	R2.11.12 (R2.12.1 官報)	H29年度積立分 の2/10

(3) 災害等準備金のうち積立後3年が経過した平成28年度積立分13,752,831円は取崩し、令和2年度助成財源とした。

(4) 年度末には、令和2年度分として15,020,000円を新たに積み立てた。

2 災害義援金の状況

(1) 静岡県の災害義援金

令和元年10月12日に伊豆半島に上陸した台風第19号の記録的な大雨により、伊豆の国市及び函南町に災害救助法が適用されるなど、静岡県内各地において甚大な被害が発生した。

これを受けて静岡県共同募金会では、静岡県及び日本赤十字社静岡県支部と調整の上、この災害により静岡県で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集した。義援金は県から市町を通じて令和2年9月末を以って被災者への配分を完了した。(中央共同募金会からの業務支援資金 63,010円)

① 概要

名 称	令和元年台風第19号災害静岡県義援金
受 付 期 間	令和元年10月18日(金)～令和2年3月31日(火)
受 付 実 施 団 体	日本赤十字社静岡県支部及び社会福祉法人静岡県共同募金会
受 付 方 法	指定金融口座への振込又は各機関の窓口

② 受付状況

受付実施団体	件数(件)	種別(件)		受入金額(円)		
日本赤十字社 静岡県支部	1,368	振込	1,183	156,344,970	159,718,553	
			(うち 日本赤十字社本社扱い)	8		52,072,963
静岡県 共同募金会	632	振込	185	3,373,583	80,527,827 (令和2年度受入) (1,041,092)	
			ゆうちょ	522		23,898,927
				地銀		105
			(うち 中央共同募金会扱い)	6		5,857,785
小計	2,000	振込	5	171,100	240,246,380	
			振込	1,810		236,701,697
		窓口	190	3,544,683		
御下賜金、ふるさと納税					2,133,339	



受付実施団体	件数(件)	種別(件)	受入金額(円)
福岡市民からの義援金配分			120,446
利息			133
合計			242,500,298

③ 配分状況

上記受付金額 242,500,298 円について、以下のとおり配分を決定した。

ア 令和元年台風第 19 号災害静岡県義援金配分委員会の概要

開催回数	2回(第1回 令和元年12月26日開催 ・ 第2回 令和2年5月25日開催)
配分方法	公平・適切な配分のため委員会にて配分基準等を定め、市町を通じて配分する。
委員会の構成団体	静岡県市長会町村会総合事務局、(福)静岡県社会福祉協議会、(福)静岡県共同募金会、日本赤十字社静岡県支部、日本放送協会静岡放送局、公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団、静岡県

イ 配分結果(25市町)

配分対象被害種別	被害数	配分割合	配分単価(円)	(第1回配分単価)	(第2回配分単価)	配分総額(円)
①死亡・行方不明者	4	1	1,033,000	600,000	433,000	4,132,000
②重傷者	2	0.5	516,500	300,000	216,500	1,033,000
③全壊	7	1	1,033,000	600,000	433,000	7,231,000
④半壊	219	0.5	516,500	300,000	216,500	113,113,500
⑤一部損壊	422	0.1	103,300	60,000	43,300	43,592,600
⑥床上浸水	709	0.1	103,300	60,000	43,300	73,239,700
合計	1,363	—	—	—	—	242,341,800

ウ 配分単価にて配分できない端数金額の取り扱い

受付金額(242,500,298円)から配分総額(242,341,800円)を差し引いた、配分単価にて配分できない端数金額(158,498円)については、災害救助法適用の伊豆の国市及び函南町に均等配分した。

(2) 全国の義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。 11 件

(3) 全国の災害義援金を受付け募集共同募金会へ送付した。

No	義援金の名称	募集共同募金会	件数	金額(千円)
1	令和2年7月豪雨災害	中央共同募金会	1件	50,000
	前年度 2件		2件	21,475

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

(1) 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金を次のとおり受け入れ、助成を行った。

寄付者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
(実績なし)	—	—	—	—
前年度(0)	—	—	—	—

※審査事務費は助成額の3%以内

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(業務委託費 205,000 円)

施設名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
富士保育園(保育所)	熱海市	1,640,000	屋上の補修、防水塗装
りなむ(就労継続支援 B 型事業所)	島田市	620,000	トイレの改修工事
オリブ(障害者支援施設)	松崎町	1,540,000	プレハブ冷凍冷蔵庫
ひまわり授産所(就労継続支援 B 型事業所)	湖西市	1,460,000	送迎車両
計 (4)		5,260,000	



施設名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
前年度 (3)		5,030,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて委託を受け、当財団の助成を要望する施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(業務委託費 171,000 円)

施設・団体名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
道悦島地区社会福祉協議会	島田市	75,700	充電式ヘッジトリマー(庭木の刈込機)
葦山声のボランティア	伊豆の国市	108,900	デュプリケーター(音声録音CD複写機)
音訳ボランティアふきのとう	磐田市	573,200	ノートパソコン、プレクストーク式
サロン西仲	富士市	不採択	電子体温計、掃除機他
東部台 日向ぼっこ	磐田市	53,100	デジタル血圧計、マグネット吹き矢他
小立野なかよしサロン	磐田市	79,200	ポッチャセット
ぴくにくく	富士宮市	364,300	可搬型通信カラオケ式
サロン銀杏の郷	磐田市	129,400	ノートパソコン、プリンター他
小鹿こども園	静岡市	不採択	外壁塗装等改修工事
計 (7)		1,383,800	
前年度 (5)		1,292,300	

5 顕彰活動

(1) 令和2年度全国社会福祉大会における表彰

令和2年度全国社会福祉大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されなかったが、本県関係では次のとおり表彰状を伝達した。

① 厚生労働大臣表彰(1件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1 団体	20 年以上	

② 中央共同募金会会長表彰(7件)

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	3名	10 年以上	
優良地区・団体	4 団体	10 年以上	

(2) 令和2年度静岡県健康福祉大会と表彰

ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和2年度静岡県健康福祉大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されなかったが、次のとおり表彰状を伝達した。

① 静岡県知事褒賞(1件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	1 団体	15年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰(31件)

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	6 名	3年以上	
募金ボランティア団体	22 団体	//	
募金ボランティア地区	3 地区	//	

(3) その他の顕彰(116件)

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	4 件	個人100万円以上、 団体300万円以上	個人1件、団体3件
中央共同募金会会長感謝楯	4 件	個人50万円以上、 団体100万円以上	団体4件
中央共同募金会会長感謝状	4 件	個人20万円以上、 団体60万円以上	個人2件、団体2件
静岡県共同募金会会長感謝状	104 件	5万円以上	



第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第284回】(決議の省略) 令和2年4月27日(月) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事 2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事候補者の提案について 第2号議案 役員報酬等規程改正案の提案について 第3号議案 評議員会の招集について 第4号議案 配分委員会委員の補欠選任について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第285回】(決議の省略) 令和2年6月2日(火) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【報告事項】 (1)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和元年度使途選択募金の助成措置 ②令和元年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和2年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ④令和2年度“赤い羽根”新型コロナ対策フードバンク応援事業への寄付物品による助成措置 (2)令和元年台風第19号災害静岡県義援金の募集状況と配分結果について (3)新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた令和2年度赤い羽根共同募金運動の実施方針について(会長通知) (4)知事報告について (5)本会の新型コロナウイルス感染予防対策について 【決議事項】 第1号議案 副会長の選定について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第3号議案 評議員候補者(補欠)の提案及び評議員選任・解任委員会の招集について 第4号議案 令和元年度事業報告の承認について 第5号議案 令和元年度計算書類等の承認について 第6号議案 定時評議員会の招集について 第7号議案 令和2年度共同募金(一般募金)広域目標額について	・副会長 梶谷 浩 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第286回】(決議の省略) 令和2年6月11日(木) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について	・原案どおり決議
【第287回】 令和2年7月13日(月) 静岡県総合社会福祉会館 6階601会議室 (定足数) 総数11名(定員9~11名) 出席者11名 ※監事 1名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和2年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ②新型コロナ対策フードバンク応援事業への寄付物品による助成措置 ③令和2年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 (3)新型コロナ対策フードバンク応援事業の実施状況の報告について (4)実地監査結果の報告について 【決議事項】 第1号議案 評議員候補者(補欠)の提案及び評議員選任・解任委員会の招集について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第3号議案 令和2年度(第70回)NHK歳末たすけあいの助成方	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議



開催時期・会場	審議事項	備考
【第172回】(決議の省略) 令和2年6月12日(金) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【報告事項】 (1)令和元年度事業報告について 【決議事項】 第1号議案 令和元年度計算書類等の承認について	・原案どおり決議

3 監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
令和2年5月18日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 監事2名出席(定員2名)	1 令和2年度の理事の職務の執行の監査 2 令和2年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査報告書」は 令和2年6月12日受理	事業の適正・計算 関係書類及び財 産目録の適正が 認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第7回】 令和2年6月2日(火) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者4名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第8回】 令和2年7月13日(月) 静岡県総合社会福祉会館 1階103会議室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者4名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第59回】 令和2年7月2日(火) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者10名	【報告事項】 (1)令和元年度共同募金運動の実績について (2)配分委員会規程第8条第6項により委員長が専決した事項の報告について ①令和元年度使途選択募金による助成措置 ②令和元年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和2年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ④新型コロナ対策フードバンク応援事業への寄付物品による助成措置 (3)評議員及び理事の補欠選任並びに副会長の選定について (4)新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた令和2年度赤い羽根共同募金運動の実施方針について (5)実施監査結果の報告について 【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について 第2号議案 令和2年度(第70回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第3号議案 令和2年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第4号議案 令和2年度共同募金の助成計画について 第5号議案 令和2年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	委員長 梶谷 浩 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決



開催時期・会場	審議事項	備考
【実地調査】 令和2年1月12日から 令和2年2月1日まで (延べ10日間)	配分委員13名により、令和2年度共同募金による助成事業に申請のあった65施設、グループ、団体の現地調査(新型コロナの影響で書面審査に変更)を実施した。	
【第60回】 令和3年3月2日(火) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者10名	<p>■報告事項</p> <p>(1)令和2年度共同募金運動の状況について</p> <p>(2)配分委員会規程第8条第6項により委員長が専決した事項の報告について</p> <p>①令和2年度地域歳末たすけあい募金による助成措置</p> <p>②令和2年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置</p> <p>③新型コロナ対策フードバンク応援事業への寄付物品による助成措置</p> <p>(3)新型コロナ対策フードバンク応援事業の実施状況の報告について</p> <p>【審議事項】</p> <p>第1号議案 令和2年度共同募金(一般募金)による助成について</p> <p>第2号議案 令和2年度(第70回)NHK歳末たすけあいによる助成について</p> <p>第3号議案 令和2年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について</p> <p>第4号議案 令和2年度災害ボランティア活動用資機材整備事業の助成について</p> <p>第5号議案 災害ボランティア活動用資機材整備事業実施要領の一部改正について</p> <p>第6号議案 令和3年度助成要綱の制定について</p> <p>第7号議案 助成要綱に定める本会が特に認めたものに関する内規の一部改正について</p> <p>第8号議案 令和3年度全国キャンペーンに対応した助成事業の創設について</p> <p>第9号議案 災害支援制度運営要綱及び同実施要領の一部改正について</p> <p>第10号議案 災害等準備金(平成29年度積立分)の取崩について</p>	<p>・原案どおり可決</p>

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
課題解決プロジェクト募金個別打合せ	11月13日(金)	参加4団体
	11月16日(月)	
	11月27日(金)	
市町共同募金委員会事務担当者打合せ	7月27日(月)	35市町共募
	3月26日(金)	中止
助成金交付説明会	3月26日(金)	助成先 64 施設・団体



第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会主催の会議等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員研修会	4月20日(月)～22日(水)	中止
	1月21日(木)、22日(金)(オンライン)	主事
中央共同募金会評議員会	6月23日(火)(書面決議)	常務理事
	3月4日(木)(オンライン)	
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月15日(水)(オンライン)	常務理事、事務局長
	12月2日(水)(オンライン)	
	2月10日(水)(オンライン)	
都道府県共同募金会全国オンライン集会	9月29日(火)(オンライン)	全職員
都道府県共同募金会第1次意見交換会	4月28日(火)(オンライン)	常務理事、事務局長
// 第2次意見交換会	5月28日(木)(オンライン)	主査、主事
// 第3次意見交換会	6月26日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長
// 意見交換会・募金編	7月8日(水)(オンライン)	主査、主事
// 意見交換会・助成編	9月2日(水)(オンライン)	事務局長
// 第4次意見交換会	12月16日(水)(オンライン)	主査、主事

(2) 市町社会福祉協議会主催の会議

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	5月18日(月)	中止
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月18日(月)	中止
東部ブロック市町社会福祉協議会連絡会	8月27日(木)	常務理事
市町社会福祉協議会中部地区連絡会	7月16日(木)	常務理事、事務局長
西部ブロック社会福祉協議会連絡会	7月28日(火)	常務理事、事務局長
	11月27日(金)	中止
	2月26日(金)	主事

(3) 外部研修

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修(静岡県社会福祉協議会)	4月27日(月)(オンライン)	萩原監事、事務局長
関東ブロック都県事務局長研究協議会	7月	中止
関東ブロック都県職員研究協議会	6月	中止

2 共同募金運動募金経費

今年度は新型コロナ感染予防対策のため、運営費積立金から1,400,000円を取り崩して市町共同募金委員会事務費を追加支給するなど経費の増加要因があったが、昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、寄付物品の受け入れなど新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内容
2年度	70,988,638円 (うち市町共同募金委員会経費 17,559,776円)	13.94%	人件費、事業費、事務費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか
前年度	71,741,889円 (うち市町共同募金委員会経費 16,422,222円)	13.56%	同上

3 社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査は、5年に1回の周期で行われるので、今年度は対象外であった。なお、次回は令和6年度予定である。

**第3 社会福祉法人静岡県共同募金会職員等名簿****1 理事・監事**

[令和3年3月31日現在]理事定数9～11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏名	役職名	氏名
会長(理事)	後藤 康雄	理事	田口 博
副会長(理事)	梶谷 浩	〃	佐藤 幸夫
副会長(理事)	杉本 正	〃	木村 功二
副会長(理事)	瀧 義弘	常務理事	大野 彰彦
理事	工藤 達朗	監事	廣瀬 清久
〃	野崎 元廣	〃	萩原 綾子
〃	水野 隆		

2 評議員

[令和3年3月31日現在] 評議員定数12～14名(現員14名)

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	中村 泰昌	評議員	岩崎 康江
〃	窪田 賢一	〃	秋山 辰巳
〃	柳川 実	〃	天野 崇志
〃	松井 和子	〃	中西 清文
〃	芦川 清司	〃	戸野谷 宏
〃	高山 茂宏	〃	田中 尚弘
〃	廣野 篤男	〃	合田 敏尚

3 評議員選任・解任委員会委員

[令和3年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員(外部委員)	三浦 聡	委員	萩原 綾子
〃	佐々木希世子	〃	藤原由佳子
〃	嵩本 壽信		

4 配分委員会委員

[令和3年3月31日現在] 委員定数13名(現員13名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員長	後藤 昌弘	委員	日詰 一幸
副委員長	大野 彰彦	〃	高山 茂宏
委員	木村 功二	〃	渡辺 東作
〃	秋山 辰巳	〃	野村 諒子
〃	鈴木 亨	〃	笠井 洋明
〃	藤森 昌彦	〃	山本 培代
〃	瀧 昌光		

5 職員

[令和3年3月31日現在]

役職名	氏名
常務理事	大野 彰彦
事務局長	藤原由佳子
主査	稲葉真友子
主事	杉山大輔
囑託員	村田 明子
〃	石川ひろみ

【事務所所在地】

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
 静岡県総合社会福祉会館シズウェル4階
 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400
 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp
 URL <http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/>